

## 資料1 山陽小野田市都市計画マスタープラン（令和元年12月改定）

(1/2)

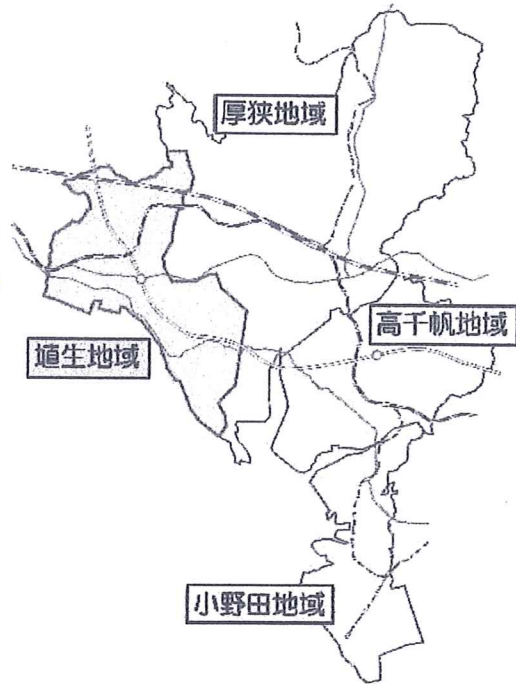
## (4) 埴生地域

## 1) 埴生地域

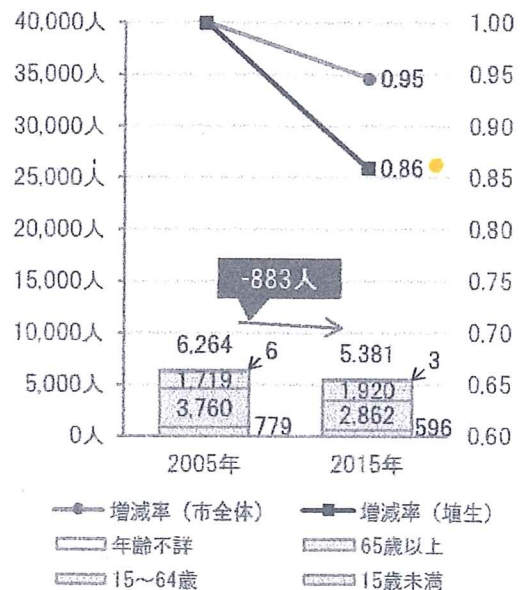
## 1 地域の現況

- 埴生地域では、市の平均以上に人口が減少しています。
- 主な市街地は埴生漁港周辺と海岸沿いに形成され、その背後に山林が広がっています。
- 漁港周辺の市街地は、道路が狭く、建物が密集した状態となっています。
- 地域内に商業施設や医療施設などの生活関連施設が少ないことが問題となっていますが、その一方で、観光農園、飲食施設などの観光資源は数多く分布しています。
- 地域住民のコミュニティの場となる支所と公民館を兼ね備えた埴生地区複合施設の整備が進められています。
- 前場川や埴生港海岸において、高潮対策事業が進められています。

[埴生地域位置図]



[埴生地域の人口推移]



(資料:国勢調査)

市では、平成21年3月に山陽小野田市都市計画マスタープランを策定し、都市づくりに関する様々な施策に取り組んできました。その策定から10年が経過し、人口減少や少子高齢化の進展、厳しい財政状況、安心・安全な都市づくりに対する市民意識の高まり等により、都市づくりへのニーズは多様化している中で、持続可能な都市づくりを進めていくため、令和元年12月に改定をおこないました。

資料2 山陽小野田市地域公共交通網形成計画

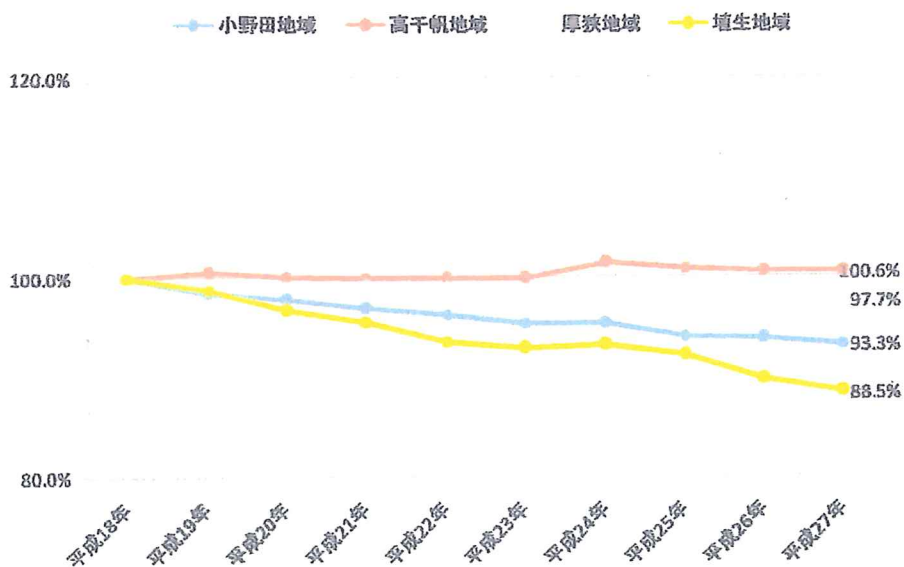
2-3 人口の推移

平成27年12月末時点の住民基本台帳によると、本市の人口は64,366人、高齢化率31.3%となっています。近年、高千帆地域を除く小野田、厚狭、埴生地域の人口は減少しています。



資料：各年の12月末時点の住民基本台帳の地域別人口データ

図7 地域別人口の推移



資料：各年の12月末時点の住民基本台帳の地域別人口データ

図8 地域別人口の増減状況（平成18年の人口を基準）

## 資料1 山陽小野田市都市計画マスタープラン（令和元年12月改定）

(2/2)

## 2 地域住民の意見

地域住民の意見のポイントを整理すると、以下のとおりとなります。

注：それぞれの結果は、資料編に掲載しています。

## ●市民アンケート（平成29年度（2017年度）実施）

[平均値より満足度が低く、「特に重点的に改善に取り組む必要がある」項目]

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ① 病院などの医療福祉施設の充実 | ⑤ 公共施設の安全性・バリアフリー |
| ② 空家等の管理及び抑制対策   | ⑥ 鉄道(駅)の利用しやすさ・本数 |
| ③ 路線バスの利用しやすさ・本数 | ⑦ 下水道の整備          |
| ④ 買い物の便利さ        | ⑧ まちの防犯対策         |

※番号は満足度が低い順番

## ●ワークショップ意見（平成30年度（2018年度）実施）

[まちの将来の姿のまとめ]

- |  |   |
|--|---|
| <p>〈交通・道路〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通の便がよいまち</li> </ul> <p>〈産業・商業・観光・にぎわい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院や商店等が充実したまち</li> <li>● 観光資源や特産品を活かした交流人口が増加するまち</li> <li>● 雇用が生まれるまち</li> <li>● 殖生干拓地の利用促進</li> </ul> <p>〈住宅・住生活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景観や自然豊かで子どもが住みやすいまち</li> <li>● 希望や将来性のあるまち</li> <li>● 生活環境の向上、安心して暮らせるまち</li> <li>● 自然と共存したまち</li> </ul> | <p>〈コミュニティ・地域活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者や子どもが住み、活躍できるまち</li> <li>● 高齢者がやすらげ、住民同士が助け合っているまち</li> <li>● 地域の行事が充実し、子どもから高齢者まで楽しく過ごせるまち</li> <li>● かけがえのないまちを誇りに思い、自慢できるふるさとづくり</li> <li>● 街の魅力を全国に発信し、他地域と交流するまち</li> </ul> <p>〈安全・安心〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害に強いまち</li> </ul> |
|--|---|

[キャッチフレーズ]

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| ○ 若者が住みたくなる町（安心・安全、魅力ある町づくり） | ○ 殖生の景観を最大限に生かした魅力ある町づくり  |
| ○ 家族のような思いやりのあるまちづくり         | ○ 子供から高齢者までみんなが主役の活気のあるまち |

## 3 地域の特性と課題

殖生地域は、海岸に面して市街地や集落地が分布し、その背後に山林が広がる都市構造となっています。海岸沿いの飲食施設や観光施設には多くの人々が訪れていますが、回遊性の面での充実が必要とされています。

このような状況を踏まえ、地域の主なまちづくりの課題には次のようなものがあります。

- ◎ 地域内の観光資源のネットワークの形成
- ◎ 生活利便性の向上につながる都市機能の誘導と交通ネットワークの維持
- ◎ 密集した市街地内における道路の整備や空き家・空き店舗の除却
- ◎ 海岸、山林、優良農地の保全

## 資料3 山陽小野田市総合計画策定にかかるアンケート調査

結果報告書（令和3年7月）

## (1) 校区別集計（上位5項目）

全体で最も高くなっている「交通の便がわるいから」は校区によりばらつきがみられますが、特に本山校区、須恵校区、厚陽校区及び津布田校区が50.0%で高くなっています。

	本山	赤崎	須恵	小野田	高泊	高千帆
買い物などが不便だから	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
交通の便がわるいから	50.0%	16.7%	50.0%	14.3%	0.0%	28.6%
仕事がないから	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	28.6%
地域や人になじめないから	0.0%	33.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
医療環境に不安があるから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	有帆	厚狭	厚陽	出合	埴生	津布田
買い物などが不便だから	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	37.5%	25.0%
交通の便がわるいから	0.0%	10.0%	50.0%	0.0%	31.3%	50.0%
仕事がないから	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域や人になじめないから	0.0%	20.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
医療環境に不安があるから	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

## (2) 年齢別集計（上位5項目）

「仕事がないから」の割合は20代が40.0%で最も高くなっています。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
買い物などが不便だから	0.0%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	31.3%	23.1%
交通の便がわるいから	50.0%	11.1%	44.4%	11.1%	18.2%	25.0%	23.1%
仕事がないから	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	18.2%	0.0%	0.0%
地域や人になじめないから	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	9.1%	12.5%	0.0%
医療環境に不安があるから	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	6.3%	23.1%

[トップページ](#) > [しごと・産業・観光](#) > [中小企業](#) > [大店立地法・商店街](#) > 「福岡県移動スーパー参入促進費補助金」のご案内

前田浩司議員

資料5

# 「福岡県移動スーパー参入促進費補助金」のご案内

更新日:2021年4月1日更新

## 福岡県移動スーパー参入促進費補助金

### 1 概要

- 移動販売車で買い物が困難な地域を巡回し、地元スーパーの食品や日用品の販売を行う、「移動スーパー」に取り組む事業者を支援します。

### 2 事業内容

#### (1) 補助対象者

- 中小企業者(地元スーパー、移動販売事業者)

#### (2) 補助対象事業

##### ア 直営型

- 地元スーパーが自社で車両購入し、自社の商品を移動販売。

##### イ 連携型

- ・ 移動販売事業者が車両購入し、地元スーパーの商品を引き受け移動販売。

### (3) 補助率等

- ・ 補助率 3分の1以内
- ・ 補助限度額 1,500千円

(注) ただし、市町村から補助を受けることが条件で、市町村からの補助額を超えない範囲での補助となります。

(注) 新型コロナウイルス感染拡大による影響で、原則として売上高等が前年または前々年同月と比較して15%以上減少しており、かつ、その後2か月間を含む3か月間の売上高等が前年または前々年同期と比較して15%以上減少することが見込まれる補助対象者については、補助率を1/3から5/12(市町村負担含め3/4)に、補助限度額を150万円から187.5万円に嵩上げします。

### (4) 補助対象経費

車両購入費・改造費、借料・損料、備品費、委託費、広報費、雑役務費 ほか

## 3 補助金交付要綱、様式集

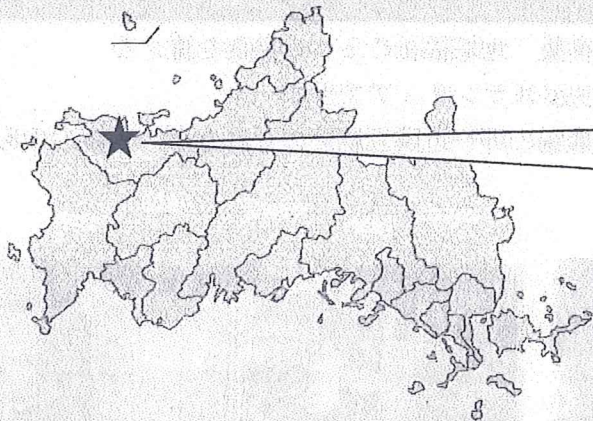
[福岡県移動スーパー参入促進費補助金交付要綱 \[PDFファイル/132KB\]](#)

[様式集 \[Wordファイル/163KB\]](#)

## 4 受付期間

- ・ 随時受付 (注):ただし、予算額に達した場合は、その時点で受付終了となります。
- ・ 申請にあたっては、下記まで事前にお問い合わせください。

このページに関するお問い合わせ先



## 古市ひろば

(長門市日置上古市)

空き店舗を活用した、住民グループによる生活店舗と交流スペースの運営

店舗名称	古市ひろば
所在地	長門市日置上
連絡先	0837-37-3220
開設	平成23年4月
運営主体	運営委員会
運営体制	2名体制(ボランティア8名)
営業時間	毎週月・水・金 午前8時30分～正午
取扱品目	野菜、豆腐、菓子、卵、加工食品(惣菜・乳製品等)、花、果実、日用品、手芸品

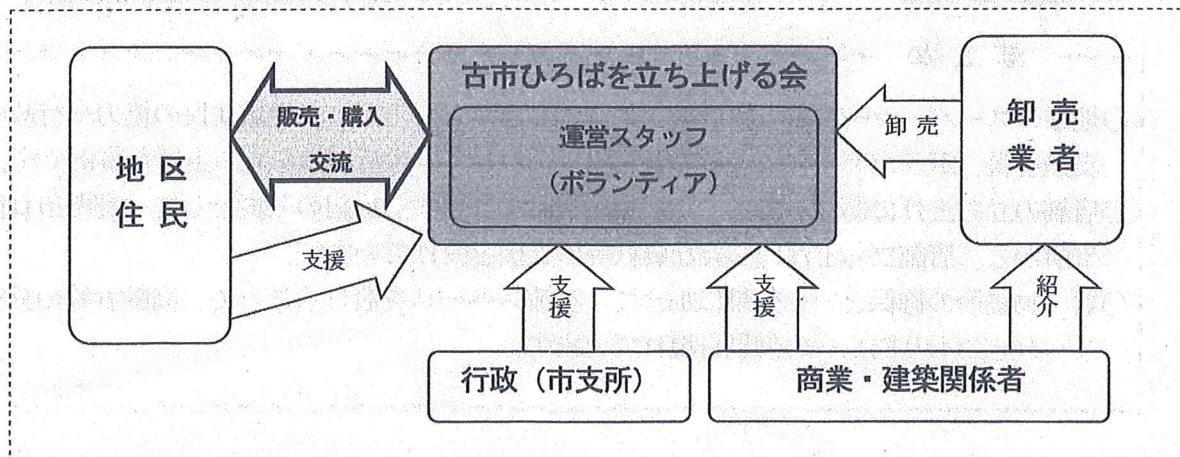


### 地域の現状

- 長門市日置地区のスーパーマーケット2店が相次いで閉店
- 地区における日常の買い物に対応できる店舗が残っていない
- 他地区のスーパーマーケットまでは交通の便が良くないため、高齢者等の買い物に支障

### 取組の概要

- 地元自治会、民生児童委員、地元業者等により運営委員会を組織
- 開店時の改装資材を市が援助し、施工は建築関係者がボランティアで対応
- セールや記念行事等のイベントを積極的に開催、近隣の住宅型有料老人ホームに週1回訪問して物品を販売
- 店舗内に交流スペースを併設し、地域住民のふれあいの場として活用
- 「仕入れルートの開拓やノウハウ獲得と、利用者ニーズに合わせた品ぞろえの充実」が課題のひとつであったが、平成29年7月、長門市が株式会社丸久と地域活性化包括連携協定を締結したことから、株式会社丸久からの商品供給支援をうけることとなった。



山口県「買い物弱者対策」事例集

運営の特長

- 空き店舗の活用、住民コミュニティの構築、地域福祉の3つの機能を備える
- 商業関係者や建築関係者など、地区住民がボランティアでサポート
- 地元農家等の新鮮野菜や海産物、近隣農場の卵や近隣豆腐店の豆腐など、集客力のある人気商品の取扱い



今後に向けて

- ボランティア運営スタッフの拡充や後継者育成など、マンパワーの充実によってスタッフの負担を軽減し、10年先の地域を見据えて店舗運営を継続
- 仕入れルートの開拓やノウハウの獲得と、利用者ニーズに合わせた品揃えの充実
- 店舗まで買い物に来ることのできない人への対策（注文・配達など）を検討



まとめ

- 地域のスーパーマーケット閉店後、地域の有志が立ち上がり、地域住民の協力や行政の支援を得、ボランティアによる運営を組み合わせ、生活店舗を立ち上げた事例です。
- 店舗の立ち上げにあたっては、市民協働活動を支援する取組の一環として、長門市日置支所から、店舗立ち上げに必要な資材等の支援を受けています。
- 買い物場所の確保という効果に加えて、交流スペースを設けることで、高齢者等の見守り・ひきこもり防止への効果も現れています。